

原案どおり

修正します

大分市の国際化推進計画の策定にあたって			
1. 計画策定の趣旨			
1		「大分市国際化推進計画(案)」という表題が硬すぎる。もっと噛み砕いた表現にしてはどうだろうか。	修正します 副題である「国際化・大交流時代の活力ある都市をめざして」を表題に加えたいと思います。 また、施策の中心である「ゆたかに はぐくむ」「ふかめて たかめる」「たずさえて きずく」「いかして はっきする」という4本柱を分かりやすく表記することにより、外国の方々からも理解されやすい計画になるよう努めているところです。
2	P1	市民活動に役立てていく視点が不明瞭	修正します 「それぞれの市民活動」を「それぞれの市民生活や活動」に改めます。また、注記を設け、「活動」の概念：「個人の能力開発をめざす学習、趣味などの活動 構成員相互の利益を目的とした企業などの活動 社会・地域の課題解決を目的とした社会貢献などの活動」を説明します。
3	P3	国際化の必要性やメリットが明確ではない。	原案どおり - (1)「変化への適切な対応」で、国際化の取り組みが必要となった環境変化を整理しています。及び詳細プログラムにおいて、重点課題と個別事業を明示し、これらを通じて目標の実現を明示しています。
2. 計画の位置づけと計画期間			
2. いかしていきたい大分市の個性			
国際化の目標と目標達成のための施策			
1. 「ゆたかに はぐくむ」心豊かに 人を育む			
4	P5	外国籍の方でも安心して働ける職場を確保してもらいたい。(人口を増やしていけば、自然に交流の場ができるはずです)	原案どおり 就労ビザの交付事務は、国の所管事項となりますが、本計画では、就労ビザ取得者が安心して快適に働ける環境づくりをめざしています。なお、留学生のインターンシップ、更にはビジネスチャンス事業の推進により、外国籍市民が就業できる機会が増えていくものと考えております。
5	P5	外国人増加に伴い、外国人に抛る犯罪も増えるのではないかと。今回の計画にその対策について何も触れられていないのでは。	原案どおり ご指摘にありますとおり、外国人の方々比以前より多く大分を訪れ、留学生をはじめとする外国籍市民も増えています。外国籍市民も地域社会の構成員であるという観点から、- 1国際化ビジョンその1のなかで「多様な文化とあらゆる国籍の市民があい共生し、ともに快適な生活環境をつくり出していくことが重要」と位置づけています。留学生意識調査におきましても、大分市の良いところとして「犯罪の少なさ」が多数を占めており、「安心安全」は国籍に関係なく共有している価値観だと考えています。このような中で、外国人犯罪件数は留学生など外国籍市民の増加に関わらず、ここ数年わずかであり、その大半が法を理解していなかったことに起因することから、本計画では誤解や知識不足の解消を図るとともに、就業等の支援、さらには安全で快適な地域づくりに外国籍市民共に参加できるフレームづくりを促進し、「あらゆる国籍の市民が共生する都市」を目指しています。
2. 「ふかめて たかめる」交流を深めて 魅力を高める			
6	P6	「ふかめて たかめる」の中の「文化・学術・芸術・スポーツレベルの向上」の中に「料理教室(講座)」を設けてほしい。	原案どおり 現在、料理教室(講座)は幅広く行われており、「生涯学習における国際理解、多文化理解の推進」の個別プログラムの中で対応してまいりたい。
3. 「たずさえて きずく」協働で築く 持続可能な世界の繁栄			

4. 「いかして はっきする」国際化機能をいかして 都市個性を発揮する			
7	P8	市民が友好都市武漢市を身近に感じられるような小規模なキャンペーン、イベントを定期的に設けてみてはどうか。	原案どおり - (1)「国際化時代を担う人づくり」、- (1)「外国人能力、外国都市活力の活用」、において、市民との連携を図るの中で、恒常的な催しを促進してまいりたい。
8	P8	長期的に文化会館を府内大分の文化センターとして外国人との交流拠点にする	原案どおり 大分文化会館は外国籍市民を含む市民が広く活用する文化施設であり、文化交流拠点であると同時に、国際交流拠点としての側面もすでに有しており、今後も文化会館の幅広い利活用を推進してまいりたい。
計画推進の方針			
9	P9	国際交流は、市民生活や環境問題に直結した問題なので町内会・自治会と市役所との交流の場を増やして欲しい。	修正します 「市民と行政のパートナーシップ促進」に「市民、市民活動団体、自治会…」と記述します。
10	P9	姉妹都市との交流を中心とし、中～長期的には先進国との交流に重点を移して欲しい	原案どおり 市民意識動向調査結果を踏まえて、方針の中で戦略的交流エリアの設定を行い、欧米地域は既存の姉妹都市交流の範疇としているところであり、アメリカオースチン市はその対象となっています。
11	P9	世界との協調、交流なしには、成り立たない時代となった。国際化戦略8か条を提案したい。： 相手の心をつかむ 人脈づくり 官庁情報の集積 世界情勢の集積 豊富な話題、データ - 女性の活用 子どもへの投資 マスコミを気にしない	原案どおり 戦略的な計画の推進については、「市民との協働」、「市民生活、市民活動に直結した課題の優先実施」、「戦略的な交流エリアの設定」を基調としており、ご提案の趣旨は、具体的な実務の参考といたしたい。
12	P9	大分市は、アジアの中でも中国、韓国との交流に力を入れるべき。特にこれらの国々と青少年を中心とする若い世代の市民交流は、地方自治体にとって、今後ますます重要。	修正します 昨年実施した市民アンケート(一般市民無作為抽出、国際交流団体、市政モニター、自治委員、市政記者)の結果、今後本市に影響のある地域として、東アジアが85.1%と圧倒的に多かったことから、「戦略的な交流エリアの設定」をしたところですが、地域をより明確にし、関連する多くのご提案に対応するために「中国、韓国をはじめとする東アジアを重点とするアジア地域を主な…」と記述させていただきます。
13	P9	台湾との姉妹都市提携を加えてほしい。 韓国との都市間交流を加えてほしい。	原案どおり 「計画推進の方針」の中で「…東アジアを重点とするアジアを主な推進対象地域とします。」と書かれており、当然、台湾及び韓国も重点交流対象地域に含まれると考えます。しかしながら、姉妹都市提携については未永い交流を前提とすることから、幅広い市民交流や都市の特性や類似性等の要因が整うことが条件と考えています。新たな都市間交流を結ばずに、市民レベルの交流を促進していきたいと考えています。
14	P9	「大分市国際都市交流親善会議」の内容がよくわからない。その内容の広報と活性化をすすめてはどうか。	原案どおり 「市民と行政のパートナーシップ促進」の中で「大分市国際都市親善会議」の活動広報及び活性化について検討してまいりたい。

個別プログラム			
15	P12	中国語(英語、ポルトガル語)を身近なものとするように、現在の語学講座の頻度を何らかの形で増やしたらいいのではないか。大分市の第二公用語化にするキャンペーンをしたらどうか	原案どおり 第二公用語の表現はしませんが、-(1)「国際化時代を担う人づくり」の充実を図る中で、身近に感じる語学講座の推進を図ってまいりたい。
16	P13	私費留学生の国保加入者に保険料を補助してはどうか。	原案どおり -(2)「在住外国人もふるさとと思えるまちづくり」の中での充実を図る中で検討してまいりたい。
17	P12	「食文化を学ぶ」という点で、学校給食に世界各地のメニューを取り込み、その国の特色やマナーが学べるようにしてはどうか。	原案どおり 市内すべての学校で「特色ある学校づくり」を推進しており、その一環として行われる「多文化国際理解」の取り組みについては、-(1)「国際化時代を担う人づくり」の中で対応してまいりたい。
18	P12	市で外国人を雇い、公民館などで定期的に交流したり、自然を利用したキャンプ、ホームステイをして欲しい。	原案どおり 詳細プログラム - (1)「国際化を担う人づくり」の充実を図る中で、検討してまいりたい。
19	P12	幼稚園や小学校低学年の頃に多くの国の人や多様な文化に触れ、国際化の感性を養うことが必要。	
20	P12	少年野球やサッカー、バレーボールなど姉妹校活動をする必要がある。	
21	P12	小中学校での国際文化交流が必要	
22	P12	国際的な理解力の基礎は、効率的な語学教育と各国の歴史、文化、地理の学習が不可欠。	
23	P12	英語に限らず安い費用で外国語を学べるシステムの構築が必要。	
24	P12	小さい時から会話(コミュニケーション能力)の出来る外国語教育の見直しを大分独自に進めては。	
25	P12	子供たちにも国際交流の場をつくってもらいたい。	
26	P12	韓国料理教室を開催して欲しい	
27	P12	外国籍の方に大分弁を知ってもらいたい	
28	P14 P16	大友宗麟とフランシスコザビエルの掘り起しによって、キリシタン都市。府内を宣伝すべき。アートプラザにキリシタン関係の特別常設展示を行う。	原案どおり 詳細プログラム - (4)「海外観光客の誘致、交流人口の創出」及び - (3)「おもてなしの心に満ちた市民の国際交流」、-(1)「国際化を支える基盤の整備」の充実を図る中で、検討してまいりたい。
29	P13 P14	交流において重要と考えられることは「人」をどう受け入れ、どう遇するかである。その意味で効果的な交流プログラムといえるホームステイを充実させる必要がある。	原案どおり 留学生が第2のふるさととして大分を感じ、卒業しても住んでいたい、また帰国しても家族や親族を連れてまた来分したいと思ってもらうには、大分でどれだけ親しく地元の人々と交流が出来たかと言うことが重要なポイントと考えています。一方で、市民意識動向調査においても、留学生と接して草の根の国際交流に参加してみたいが、なかなか参加できるきっかけがないと感じている市民も多いことから、今回の計画では留学生に対する共生サポート事業の一環として里親制度の実施、ホームステイの促進を挙げています。(- (2) - 2 - - - (2) - 3 - -)。行政の役割は、国際化ビジョン達成のための政策形成であると考えていますので、受入家庭と留学生のマッチングや事業のコーディネート、実施後のフォローなど、具体的な事業そのものを専門的な外部機関や市民活動団体に委託すること等を視野に入れながら、スムーズで継続的な事業展開を図ってまいりたいと考えています。
30	P13 P14	国際交流には大変興味があるのですが、なかなか交流の機会が無い。外国人の方も世界の中で、日本、そして大分を選んできたのだから日本人との接触を希望しているのではないかと。そこで外国人学生を週末だけ受け入れるホストファミリー制度などがあるとありがたい。	

31	P12	在日朝鮮籍・韓国籍市民に対する人権問題などに対する施策を盛り込むべきではないか。	<p>原案どおり</p> <p>「ゆたかに はぐくむ」の前文と基本施策その1の「学校と地域における人権教育・啓発と国際理解教室の推進」を「国際化の目標と達成のための施策」の冒頭に位置づけています。また、本計画は「市人権教育・啓発基本計画」の外国人の項と整合性を図りながら策定してきましたことから、基本施策に関わる詳細プログラムにおきましても - (1) - 1 - - に「市人権教育・啓発基本計画」の推進を明確にし、多文化共生の推進を図ることにいたしております。</p>
32	P13	参政権のない外国人が政治について発言し社会参加を保障できる「外国籍市民懇話会」のようなものをつくるべきである。	<p>原案どおり</p> <p>外国籍市民の声をまちづくりにいかしていくために、- (2) の「在住外国人もふるさとと思えるまちづくり」の中で「共生サポート事業」を位置づけ、「行政の各種委員会への参画推進」、「ボランティア、地域活動への参加推進」、「(仮称)外国籍おおい市民ネットワーク会議」等の取り組みを通じて「多様な文化とあらゆる国籍の市民が共生する都市」を目指してまいります。</p>
33	P13 P14 P17	ネットピアツアは利用者も少なく設備がもったいなく思う。あまり必要性の無い施設だと感じる。	<p>原案どおり</p> <p>ネットピアツアは2002年に行われましたサッカーワールドカップの際、大分を訪れる外国人のみなさまの情報拠点として設置されました。現在も外国籍市民を含む市民、本市を訪問する方々に活用されています。しかしながら、現在のネットピアツアは、交流拠点としてのスペースがないこと、県国際交流センターがなくなったこともあり、特に外国籍市民や国際交流を行っている市民団体から、他都市に比べて不便だと意見も多数寄せられています。このようなことから、- (1) - 4 - - 、 - (3) - 2 - - や - (1) - 4 - - でネットピアツアの充実を挙げ、交流拠点の位置づけをしながらネットピアツアの充実を図ってまいりたいと考えています。</p>
34	P12 P14 P17 P18	既に地域で活動している(国際化とは関係なく組織された)団体が、「国際化」を取り込んで(活動して)いけるような行政のサポート体制を作ってはどうか。	<p>原案どおり</p> <p>- (3) 行政の国際化、- (1) 「国際化時代を担う人づくり」、- (1) 「外国人能力、外国都市活力の活用」、- (2) 「国際都市間交流の促進と連携強化」の中で対応したいと思います。</p>
35	P12	「国際化を担う人づくり」の一環として「人権教育・啓発と国際理解教育」の中に「過去の戦争の歴史を教える」というプログラムを入れてみてはどうか。	<p>原案どおり</p> <p>本計画では、「戦争の歴史を教える」ということに特化したプログラムはありませんが、現行の国際理解教育と併せて本計画の青少年交流、特に本市に滞在している中国、韓国など、外国人登録人口の約85%を占めるアジア地域の外国籍市民との交流を促進し、次代を担う世代による相互理解を図る中で対処してまいりたい。</p>
36	P12	中国語教室を開催して欲しい	<p>修正します</p> <p>- (1) - 3 - - 外国語会話教室のなかで、すでに実施中の中国語が未記入でありましたので訂正いたします。</p>
37	P12	小学生向けに壁に貼れる地図を制作、姉妹・友好都市の位置、人口、産業、観光などを知らせたり、市独自の副教本を作るなど、子ども達に外国の人、風土に多く接し、興味を持たせることから始めるべき	<p>原案どおり</p> <p>- (1) 国際化時代を担う人づくりの充実を図る中で参考としていきたい。</p>

38		「赤ちゃん広場」に外国人の方も参加する機会を	原案どおり
39	P12	母子手帳交付時や出生届提出時に窓口で説明、もしくは英語表記の説明文を渡すなどして、「赤ちゃん広場」をアピールしては	「赤ちゃん広場」は外国籍市民も参加可能ですが、外国語によるPR不足であるため、 - (3) - 1 行政の国際化対応力の向上、 - (3) - 2 行政職員の国際化対応力の向上、 - (1) - 4 情報発信基盤整備促進を通じて、広報の充実を図ってまいりたい。
そ の 他			
40	P13	外国籍市民とは知識や技術を持った外国人や留学生をイメージをしていると読み取れ、底辺労働に従事する外国人労働者に対する配慮が欠けているのではないか。	原案どおり 推進計画の主役は大分市に在住する全ての市民が対象となります。日本人である無しにかかわらず、国籍の別を問わず、全ての市民を対象としており、この計画を共有し、市民総参加を促進していく中で、計画の目的である「国際化・大交流時代の活力ある都市」が実現されると考えております。このようなことから、 - (2) - 1にある共生施策では、生活全般におけるサポートメニューを挙げ、あらゆる外国籍市民の方に住みやすい環境を提供していこうと考えております。
41		全体的に総花的で網羅的。まずは国際交流機会を拡大していくことではないか。 既に実施している事業評価は、どのようにしているのか。構想中のものは、即実行可能なことから実施すべき。よくまとまっているが、机上の空論ではないか。実行体制づくりと目標成果が必要ではないか。 実施計画は具体的にし、計画に優先順位をつけてはどうだろうか。 また、見直しの時期に的確な評価をして、よりよい計画にしてもらいたい。	原案どおり ご承知のとおり、グローバル化は、人権から福祉、産業経済、文化、教育、学術、まちづくり、芸術、スポーツなどの分野で、地域社会や市民生活・活動に様々な影響を与えるという特性があり、今日、世界中で「協力」と「競争」を加速させています。このようなことから、本計画を策定し、その影響を受けるとされる既存の分野別施策に国際化の要因や対応を加味する必要があると考えております。 当然、国際交流自体は最終目的ではありません。本格的な地方分権時代を迎え、市民の皆さんのそれぞれの願いや思いを大分市で実現し、それを都市活力としていくための手段、手法として、行政が国際化や国際交流などを位置づけていくことが必要になってきたと考えています。 計画の実施に際しては、市民意識調査や緊急性、費用対効果を踏まえたうえで、既存事業は見直しを行い、新規事業は可能なものから順次、実施していくことにしています。なお、事業の実施にあたっては、個別に事業評価を毎年行い、成果の数値化が可能な事業については、明示することとしています。
42	P13 P17	現在でも様々な交流活動が行われているにもかかわらず、PRが足りないのではないか。 市民にも「国際化」が分かりやすいように、宣伝・告知・広告をもう少し工夫してほしい。 「国際化」に対する市の姿勢を積極的に広報してもらいたい。	原案どおり ご指摘の点につきましては、 - (2) - 1 - - ホームページ、広報誌の充実、 - (1) - 4 - - ホームページ仕様、コンテンツの改善により、さらに広報の充実を図ってまいりたい。